2022年　12月1日　No.243　　発行責任者　田中　孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第243号
郵政産業ユニオン
PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031　東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

人権が守られる職場にしよう

12月4日～10日は国際人権週間

1948年12月10日、第3回国連総会で世界人権宣言が採択されました。これは、基本的人権尊重を国際的にうたったものです。

これを記念して世界各国で12月10日は「人権デー」が定められ、人権を尊重し考える日になっています。日本では12月4日から10日を人権週間としています。

人権週間で職場を振り返る

この宣言は、すべての人々が持っている市民的、政治的、経済的、社会的、文化的分野等の多くの権利を内容としており、30の条文で構成されています。世界各国の憲法や法律に取り入れられ、世界各国に強い影響力を及ぼしています。

では今の職場を振り返ってどうでしょうか。正社員と非正規社員の待遇格差、正社員の中でも一般職と地域基幹職間の格差があります。そして、内務・外務を問わず、どの職場でも人手不足による過大な労働が行なわれています。

人が減っても後補充が無く、労働量に間に合わせるため、休憩時間を削って仕事をする社員は一向に減りません。体調が悪くても周りに負担がかかるからと、休まずに無理をして出勤する社員もいます。また、過大なノルマ等でハラスメントも発生しています。これらをみると、人権が守られているとは言えるでしょうか。

働き易い職場をつくるのは会社の責務

毎年行なっている春闘アンケートでは、仕事の不満の項目で「人員不足を何とかしてほしい」という声が1位になっています。ハラスメント根絶もそうですが、労働者がまともな労働環境で働けるようにすることが必要です。

働きやすい職場を作るのは会社の責務です。人権週間にあたってこのことを強く求めておきます。

定例国会前行動

11月30日、定例国会前行動が行われました。この間取り組んだ要求署名4万7千筆提出、参加者160人で「軍事費よりも生活と福祉にまわせ」の声をあげました。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか